

令和 6 年 2 月 19 日	資料 1
第3回 東京都保険者協議会医療計画等検討部会	

令和 5 年度  
第 3 回 東京都保険者協議会 医療計画等検討部会  
報告事項

東京都保険者協議会 医療計画等検討部会

## 目 次

- (1) 東京都保健医療計画（第七次改定）案への意見書について・・・・・・・・・・ 1
- (2) 第四期東京都医療費適正化計画（案）への意見書について・・・・・・・・・・ 5

(1) 東京都保健医療計画（第七次改定）案への意見書について

東保協収第 10 号

令和 6 年 1 月 22 日

東京都保健医療局長  
雲田 孝司 様

東京都保険者協議会  
会 長 桃 原 慎一郎  
(公 印 省 略)

東京都保健医療計画（第七次改定）案に対する医療法第 30 条の 4 第 17 項  
の規定に基づく意見について（回答）

平素、本協議会の事業運営に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 5 年 12 月 26 日付 5 保医医政第 993 号をもってご照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

**【東京都保険者協議会事務局】**

東京都国民健康保険団体連合会

企画事業部 保健事業課 保健事業推進係

担 当： 武部・田中・青木・北山

T E L： 03-6238-0151

F A X： 03-6238-0033

E-mail： [hjsuishin@tokyo-kokuhoren.or.jp](mailto:hjsuishin@tokyo-kokuhoren.or.jp)

## 東京都保健医療計画（第七次改定）案への意見書 （東京都保険者協議会）

### 1 マイナンバーカード及びマイナンバーカードの健康保険証利用促進に関わる普及啓発について【追加】

（素案該当箇所）

第2部 計画の進め方 第1章 健康づくりと保健医療体制の充実

第1節 都民の視点に立った医療情報の提供・都民の理解促進

項番2 医療制度や医療情報に関する普及啓発

P.60 からの課題と取組の方向性の〈課題2〉医療制度などに関する都民の理解及び（取組3）を追加

（意見①：課題の追加）

<課題2>

○ 都民が、マイナンバーカードの健康保険証利用を進めることで、データにもとづく適切な医療、より良い医療が受けられるなどのメリットがあることを踏まえ、マイナンバーカードの健康保険証利用に関する普及啓発を図ることが必要です。

（意見②：取組の追加）

（取組3）マイナンバーカードの健康保険証利用に対する普及啓発

○ 行政機関、医療保険者、医療提供施設など関係者が協働して、マイナンバーカードの健康保険証利用促進に関わる普及啓発活動に努めます。

（理由）

マイナンバーカードの健康保険証利用については、P.60 に国の状況（第1節“都民の視点に立った医療情報の提供・都民の理解促進”の〈現状〉2 医療制度や医療情報に関する普及啓発内）、P.481 に都民の役割（第4節“都民の果たすべき役割”の〈取組の方向性〉）について記載があるが、行政機関などの普及啓発に関することが記載されていない。

計画の基本理念にある「誰もが質の高い医療を受けられ安心して暮らせる『東京』」を具現化するためには、オンライン資格確認にもとづく医療情報の有効利用が不可欠である。都民の理解が進まず、さらなる利用促進に向けた取組みが求められる状況下、関係者が協力して普及、利用促進に努めることを計画に盛り込むことが必要であると考えため。

### 2 医療 DX におけるマイナンバーカード及びマイナンバーカードの健康保険証利用促進に関わる普及啓発について【追加】

（素案該当箇所）

第2部 計画の進め方 第1章 健康づくりと保健医療体制の充実

第2節 医療 DX の推進 項番2 質の高い医療提供体制の確保のための医療 DX の推進

P.68 の課題と取組の方向性に追加

（意見：課題および取組の追加）

マイナンバーカードの健康保険証利用については、国と連携して一層の推進を図る旨を記述していただきたい。

（理由）

マイナンバーカードの健康保険証利用は、医療 DX にとって重要なインフラ基盤であり、質・効率の高い医療の実現に不可欠なツールであるものの、利用率は約 4.5 %（令和 5 年 10 月）と低い課題があるため。

### 3 性の多様化への対応について【追加】

（素案該当箇所）

第 2 部 計画の進め方 第 1 章 健康づくりと保健医療体制の充実

第 4 節 生涯を通じた健康づくりの推進 3 青少年期の対策

P.120 の課題と取組の方向性（取組 1－3）健康課題に対する専門的な相談体制の整備

（意見：下線部の追加）

○ 思春期は、集団への不適応や摂食障害、性感染症や性の課題（L G B T Q +を含む）など様々な心とからだの健康課題を抱えやすい時期です。（後略）

（理由）

昨今、性転換や同性婚に関する裁判が進む中、LGBTQ+ に対する関心、認知度、理解が進む一方、社会では問題が顕在化しつつあり、職域でも対応、対策が求められている。この問題については、青少年期から正しい教育を受け、理解を深めることが、自身の心身の健康維持はもとより、精神疾患の予防にもつながると考えられるため、本計画にも盛り込むことを検討すべきと考えるため。

### 4 かかりつけ医機能について【追加】

（素案該当箇所）

第 2 部 計画の進め方 第 1 章 健康づくりと保健医療体制の充実

第 5 節 外来医療に係る医療提供体制の確保 項番 1 外来医療機能

P.143 の課題と取組の方向性の＜課題 1＞外来医療機能の明確化・連携の推進の 4 つ目

（意見：下線部の追加）

○ 国が検討する、かかりつけ医機能が発揮される制度では、都道府県が医療機関からの報告を踏まえ、当該医療機関がかかりつけ医機能の確保に係る体制を有することを確認し、地域の協議の場に報告・公表すること等が想定されています。都内には約 1 万 5 千の医療機関が所在することから、協議の場の運営方法等について検討するとともに、かかりつけ医の実績情報の開示など、都民にとって必要でわかりやすい情報の提供のあり方を検討していくことが必要です。

(理由)

かかりつけ医機能の制度整備については、法制化を踏まえ積極的な取組みが求められる。都としては、都民目線に立って、都民にとって必要でわかりやすい情報は何かを検討の上、関係先と協議の上、適切に情報開示を進めべく検討していくことが必要と考えます。

## 5 特定保健指導の実効性を高める取組について【追加】

(素案該当箇所)

第2部 計画の進め方 第1章 健康づくりと保健医療体制の充実

第6節 切れ目のない保健医療体制の推進 3 糖尿病

P.198 の課題と取組の方向性の<課題2>糖尿病の発症・重症化予防の2つ目

(意見)

特定健診・特定保健指導の実施率だけでなく、特定保健指導の実効性を高めることも課題として追記していただきたい。

また、その課題に対する取り組みとして、都として、医療保険制度に応じた適切なアウトカム指標の設定を検討いただき、実現できるよう支援いただきたい。

(理由)

被用者保険においては、被保険者の特定健診の実施率は一定の水準に達しており、今後の課題は特定保健指導の実施率（特に被扶養者＝家族）を高めるとともに、その効果を求めていく必要があるため。

## 6 生活習慣病対策について【追加】

(素案該当箇所)

第2部 計画の進め方 第1章 健康づくりと保健医療体制の充実

第6節 切れ目のない保健医療体制の推進 3 糖尿病

P.199 の課題と取組の方向性の(取組2)糖尿病の発症・重症化予防に向けた取組の推進の3つ目

(意見：下線部の追加)

○ 医療保険者に対して特定健診・特定保健指導を効果的に実施するための研修を保険者協議会と連携して実施するなど、働く世代のうちから家族を含め糖尿病を予防するための取組を支援していきます。

(理由)

生活習慣病対策は家族を巻き込んだ取組みを推進するというメッセージが必要であり、働く世代だけでなくその家族の糖尿病予防の取組への支援も求められるため。

(2) 第四期東京都医療費適正化計画（案）への意見書について

東保協収第 11 号  
令和 6 年 1 月 22 日

東京都保健医療局長  
雲田 孝司 様

東京都保険者協議会  
会 長 桃 原 慎一郎  
(公 印 省 略)

第四期東京都医療費適正化計画（案）に対する意見について（回答）

平素、本協議会の事業運営に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、令和 5 年 12 月 26 日付 5 保医保国第 1405 号をもってご照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

**【東京都保険者協議会事務局】**

東京都国民健康保険団体連合会  
企画事業部 保健事業課 保健事業推進係  
担 当： 武部・田中・青木・北山  
T E L： 03-6238-0151  
F A X： 03-6238-0033  
E-mail： [hjsuishin@tokyo-kokuhoren.or.jp](mailto:hjsuishin@tokyo-kokuhoren.or.jp)

## 第四期東京都医療費適正化計画（案）への意見書 （東京都保険者協議会）

### 1 一人当たり医療費の年齢調整について【追加】

（素案該当箇所）

第2部 都民医療費の現状 第1章 都民医療費の現状

第2節 都民医療費の動向 2 一人当たり医療費

P.7（図表6）令和3年度都道府県別人口一人当たり医療費 等

（意見）

一人当たり医療費について、都道府県別の比較を行う際には、単純な比較ではなく、他道府県との比較における東京都の特徴を明確にするため性別年齢調整後の図表を併記していただきたい。

（P.10 高血圧性疾患、P.13 腎不全、P.16 糖尿病、P.19 骨折、P.22 脳梗塞、P.25 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞も同様）

（理由）

都道府県別に比較する場合、高齢化率や年齢構成等に差があるため。例えば、一人当たり医療費の単純平均は全国で6番目に少なくなっているが、性別や年齢構成を調整して比較すると、その実態がより明らかになる。

### 2 特定健康診査及び特定保健指導の数値目標について【目標値の設定】

（素案該当箇所）

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第1章 都民の健康の保持増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

2 健康診査及び保健指導の推進 （1）特定健康診査及び特定保健指導の推進

P.59【数値目標】

（意見）

- ・ 令和11年度の数値目標が特定健康診査の実施率70%以上、特定保健指導の実施率45%以上と一律とされているが、P.50 図表58及び図表59で国が設定しているように都として保険者種別（単一健保組合、総合健保組合、共済組合等）の実施率の目標値の設定はないのか。
- ・ 計画期間中に達成可能と考えているのか。目標値を設定するにしても、これまでの実績等を考慮して現実味のある数値にしていきたい。

（理由）

- ・ 国では保険者種別ごとに実施率が異なることを踏まえて目標値を設定しているため。
- ・ 保険者でのデータヘルス計画の策定にあたり、検討委員会等において、学識経験者や検討委員から国の目標値は現実味がない等の意見があるため。



### 3 生活習慣病の発症・重症化予防に関するアウトカム指標の設定について【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第1章 都民の健康の保持増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

3 生活習慣病の発症・重症化予防の推進

P.63 【取組の方向性】

(意見)

都は、糖尿病の発症予防、早期発見、重症化予防のための効果的な普及啓発を行うとともに、医療保険制度に応じた適切なアウトカム指標を設定し、区市町村、事業者等における取組を支援する旨を記載していただきたい。

(理由)

特に重症化予防については、その効果が見えづらいという課題がある。例えば、人工透析患者数を定点観測するなど、都としてのアウトカム指標を検討いただきたい。

### 4 重症者対策について【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第1章 都民の健康の保持増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

3 生活習慣病の発症・重症化予防の推進

P.63 【取組の方向性】の3つ目

(意見：下線部追記)

○ 都は、糖尿病やメタボリックシンドロームにならないための、負担感のない生活習慣改善の工夫（一次予防）、定期的な健診受診や必要に応じ早期に医療機関を受診し、治療を継続することの重要性（二次予防）、糖尿病の重症化予防（三次予防）並びに重症化後のケアについて、都民の理解を一層深め、意識変容・行動変容を促していくため、ナッジ理論の活用などにより、効果的な啓発を行っていきます。

(理由)

生活習慣病が悪化して治療を継続しているが、健診結果では改善が見られず、またさらに悪化する方も散見されるため。

## 5 高齢期の取組事業の情報共有について【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第1章 都民の健康の保持増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

4 高齢期における社会生活を営むために必要な機能の維持

P.66 【取組の方向性】

(意見：取組の追加)

○ 都は、広域連合等と連携して推進する事業の内容やその成果等について、保険者協議会等を通じて情報共有を行います。

(理由)

運動機能や認知機能の維持のために、高齢期以前からの取組みの共有が効果的と考えるため。

## 6 マイナンバーカードの健康保険証利用促進に伴う関係者の役割について（東京都）【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携

1 関係者の役割 (1) 東京都の役割

P.94

(意見：役割の追加)

○ 都は、都民が適正な医療や薬剤処方を受けるために不可欠なマイナンバーカードの健康保険証利用を促すため、関係機関と連携し、推進していきます。

(理由)

マイナンバーカードの健康保険証利用については、都が関係機関と連携し、推進していく必要があるため。

## 7 マイナンバーカードの健康保険証利用促進に伴う関係者の役割について（医療の担い手等）【追加】

（素案該当箇所）

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携

1 関係者の役割 （3）医療の担い手等の役割

P.95

（意見：役割の追加）

- また、患者が適正な医療や薬剤処方を受けるために不可欠なマイナンバーカードの健康保険証利用を促します。

（理由）

マイナンバーカードの健康保険証利用については、関係者がそれぞれの立場から推進していく必要があることから、医療の担い手等においても利用を促していただきたい。

## 8 マイナンバーカードの健康保険証利用促進に伴う関係者の役割について（都民）【追加】

（素案該当箇所）

第4部 医療費適正化に向けた取組の推進

第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携

1 関係者の役割 （5）都民の役割

P.95

（意見：役割の追加）

- 受診時や薬剤処方時にマイナンバーカードの健康保険証を利用することで、データにもとづく適切な医療、より良い医療が受けられるなどのメリットを理解し、マイナンバーカードの健康保険証利用に努めることが大切です。

（理由）

マイナンバーカードの健康保険証利用促進のためには、国、自治体、医療機関、保険者、国民（都民）など、関係者が協力して推進することが必要不可欠だと考えるため。